

- (5) 内装薄塗材C及び内装薄塗材Lは、次による。
 - (ア) 材料の練混ぜは、仕上塗材の製造所の指定する水の量で均一になるように行う。
なお、練混ぜ量は、仕上塗材の製造所の指定する可使時間以内に使い終わる量とする。
 - (イ) 下塗りは、(1)(イ)による。
 - (ウ) 主材塗りは、次による。
 - (a) 吹付けの場合、(1)(ウ)(a)による。
 - (b) ローラー塗りの場合、(1)(ウ)(b)による。
 - (c) こて塗りの場合、(2)(ウ)(c)による。